

平成27年第3回竜王町議会定例会（第4号）

平成27年8月28日

午後1時00分開議

於 議 場

**1 議 事 日 程（第4日）**

日程第1 議第60号 平成27年度竜王町一般会計補正予算（第3号）

（総務産業建設常任委員会委員長報告）

日程第2 議第66号 平成26年度竜王町水道事業会計決算認定について

（総務産業建設常任委員会委員長報告）

日程第3 議会広報特別委員会委員長報告

日程第4 地域活性化特別委員会委員長報告

日程第5 議会基本条例推進特別委員会委員長報告

日程第6 所管事務調査報告

（議会運営委員会委員長報告）

（総務産業建設常任委員会委員長報告）

（教育民生常任委員会委員長報告）

日程第7 議員派遣について

## 2 会議に出席した議員（10名）

1番	小森重剛	2番	竹山兵司
3番	(欠員)	4番	岡山富男
5番	山田義明	6番	内山英作
7番	貴多正幸	8番	古株克彦
9番	松浦博	10番	(欠員)
11番	菱田三男	12番	蔵口嘉寿男

## 3 会議に欠席した議員（なし）

## 4 地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者

町長	竹山秀雄	代表監査委員	吉田定男
監査委員	岡山富男	副町長	川部治夫
教育長	岡谷ふさ子	総務主監	杼木栄司
会計管理者	犬井教子	政策推進課長	関司明德
総務課長	奥浩市	税務課長	田邊正俊
生活安全課長	井口清幸	住民課長	知禿雅仁
福祉課長	白川賢治	健康推進課長	嶋林さちこ
発達支援課長	木戸妙子	産業振興課長兼 農業委員会事務局長	竹内修
建設計画課長	井口和人	上下水道課長	徳谷則一
工業団地推進課長	尾崎康人	教育次長	松瀬徳之助
学務課長	重森義一	生涯学習課長	西川良浩

## 5 職務のため議場に出席した者

議会事務局長	若井政彦	書記	寺本育美
--------	------	----	------

開議 午後1時00分

○議長（蔵口嘉寿男） 皆さんこんにちは。ただいまの出席議員数は10人であり  
ます。よって定足数に達していますので、これより平成27年第3回竜王町議会  
定例会を再開いたします。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

これより議事に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

**日程第1 議第60号 平成27年度竜王町一般会計補正予算（第3号）**

**（総務産業建設常任委員会委員長報告）**

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第1 議第60号を議題とします。

本案は総務産業建設常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の  
経過と結果について委員長より報告を求めます。総務産業建設常任委員会委員長、  
貴多正幸議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（貴多正幸） 議第60号、総務産業建設常任委  
員会報告。

平成27年8月28日

委員長 貴多 正幸

去る8月20日の本会議において本委員会に審査の付託を受けました議第60  
号、平成27年度竜王町一般会計補正予算（第3号）について、審査の経過と結  
果を報告します。

本委員会は、8月21日午後1時より第1委員会室において委員全員出席のも  
と会議を開き、竹山町長、桴木総務主監及び関係課長等の出席を求め説明を受け  
審査いたしました。

平成27年度竜王町一般会計補正予算（第3号）は、補正予算（第2号）まで  
の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億7,664万5,000円を追加  
し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ63億9,126万7,000円に  
改めるものです。

主な質疑応答は、問）自立支援給付費1,600万円の増額の内訳はどのよう  
なものか。答）一般給付で生活介護支援が600万円、就労移行支援が400万  
円、療育事業分が600万円です。

問）普通交付税の額は確定された額なのか。答）確定した額です。

以上、慎重審査の結果、全員賛成で原案どおり可決すべきものと決しましたので報告いたします。

○議長（蔵口嘉寿男） ただいま総務産業建設常任委員会委員長より審査の経過と結果報告がございました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。日程第1 議第60号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（蔵口嘉寿男） 起立全員であります。よって日程第1 議第60号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第2 議第66号 平成26年度竜王町水道事業会計決算認定について

### （総務産業建設常任委員会委員長報告）

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第2 議第66号を議題といたします。

本案は総務産業建設常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果について委員長より報告を求めます。総務産業建設常任委員会委員長、貴多正幸議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（貴多正幸） 議第66号、総務産業建設常任委員会報告。

平成27年8月28日

委員長 貴多 正幸

去る8月20日の本会議において本委員会に審査の付託を受けました議第66号、平成26年度竜王町水道事業会計決算認定について、審査の経過と結果を報告します。

本委員会は、8月21日午後1時より第1委員会室において委員全員出席のもと会議を開き、竹山町長、桴木総務主監、徳谷上下水道課長及び担当職員の出席を求め説明を受け審査いたしました。

平成26年度竜王町水道事業会計決算については、基本となる給水戸数が前年度と比較して9戸増加して3,786戸となりましたが、給水人口は前年度と比較して138人の減少で1万2,054人となっています。配水量は年間165万8,567立方メートルで前年度より8万7,070立方メートルの減少、年間有収水量についても149万2,193立方メートルで前年度より4万3,980立方メートルの減少となっています。

経営状況においては、給水収益を含む営業収益は2億7,712万7,809円で前年度より362万8,836円の減少、営業外収益は6,253万3,951円で前年度より3,512万816円の大幅な増加、特別利益は2,186万円で皆増となっています。これは平成26年度から適用の地方公営企業会計基準の見直しに伴い、営業外収益については長期前受金戻入の額が3,735万6,940円の増加、特別利益については修繕引当金取り崩しの額が2,186万円であったことなどによるもので、水道事業収益全体では3億6,152万1,760円で前年度と比較して5,335万1,980円の増加となりました。

費用面では、水道事業費用全体では3億4,406万2,062円で前年度より5,253万2,806円の増加となりました。主な内訳は、原水及び浄水費、総係費、減価償却費を初めとした営業費用が3億1,675万2,116円で前年度より3,802万3,596円の増加、支払利息及び企業債取扱諸費を初めとした営業外費用が1,302万7,884円で前年度より22万7,148円の増加、特別損失が1,428万2,062円で皆増となっています。以上のことから当年度純利益は1,745万9,698円となりました。

未収金については、平成26年度末の納期到来済額が2,475万1,151円となっており、前年同期より140万793円の減少となっています。これは平成26年10月より上下水道料金等包括業務委託がスタートし、受託者による長期滞納者等への精力的な交渉等の結果、未収金の減少につながっていると言えます。

資本金については4億2,836万9,945円、資本金合計は4億2,836万9,945円となりました。

主な質疑応答、問) 水道施設についての大震災などへの備えはどうか。答) 町内の配水池は耐震化できています。

問) 災害時など大規模な給水活動への対応はどのように考えているのか。答) 現在500リットルのタンクを2個有しており、万全ではありませんが対応でき

ます。また、包括業務委託をしている業者からも応援協定により給水車による出動がされます。

以上、慎重審査の結果、全員賛成で認定すべきものと決しましたので報告いたします。

○議長（蔵口嘉寿男） ただいま総務産業建設常任委員会委員長より審査の経過と結果の報告がございました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。日程第2 議第66号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（蔵口嘉寿男） 起立全員であります。よって日程第2 議第66号は委員長報告のとおり認定することに決定されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

### 日程第3 議会広報特別委員会委員長報告

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第3 議会広報特別委員会委員長報告を議題といたします。

議会広報特別委員会委員長、松浦博議員。

○議会広報特別委員会委員長（松浦 博） 議会広報特別委員会報告。

平成27年8月28日

委員長 松浦 博

本委員会は、平成27年第2回定例会閉会後の6月25日、30日、7月6日、15日午前9時より委員全員出席のもと、7月21日午前9時より委員長出席のもと委員会を開催し、議会だより172号の編集作業をし8月1日に発行しました。

また、本委員会は、本定例会中の8月19日午前11時20分より委員1名欠席のもと委員会を開催し、議会だより173号について記事の概要検討と役割分担をしました。

主な記事の内容は、平成27年第3回定例会における条例改正、補正予算、一般質問のほか委員会活動、第16期議員紹介、シリーズいきいき人生などで、12ページにまとめ10月15日に発行することになりました。

また、今後の本委員会の日程につきましては、8月31日、9月16日、24日、28日と決定しました。

以上、議会広報特別委員会報告といたします。

なお、議長には、閉会中の議会広報特別委員会活動につきまして許可くださいますようお願いいたします。

**○議長（蔵口嘉寿男）** ただいまの議会広報特別委員会委員長報告に対して質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

**○議長（蔵口嘉寿男）** ないようでありますので、質問はこれで終結いたします。

議会広報特別委員会の委員各位におかれましては、長期間にわたり毎定例会の審議内容を議会だよりとして発行していただきました。大変御苦労さまでございました。各委員のこの間における活動に対し心から厚くお礼申し上げます。

なお、委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を認めることにいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

**○議長（蔵口嘉寿男）** 御異議なしと認めます。よって委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を行うことに決定いたしました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### **日程第4 地域活性化特別委員会委員長報告**

**○議長（蔵口嘉寿男）** 日程第4 地域活性化特別委員会委員長報告を議題といたします。

地域活性化特別委員会委員長、松浦 博議員。

**○地域活性化特別委員会委員長（松浦 博）** 地域活性化特別委員会報告。

平成27年8月28日

委員長 松浦 博

本委員会は、8月21日午前9時より第1委員会室において委員全員出席のもと、町執行部より竹山町長、川部副町長、桴木総務主監及び関係課長等の出席により所管事務調査を行いました。

1、滋賀竜王工業団地の進捗状況について。

前回の委員会で報告のあったとおり、各工事は引き続き計画どおり進捗しています。新たに竜王町事業として7月24日から岡屋仁殿下水道整備工事（その2）が着工され28年4月に完工予定です。

また、企業誘致活動については、一部、分譲要綱の応募資格等に改定があること、問い合わせが二十数件あり工業団地にふさわしい優良企業の選定を慎重に行うとともに、東京・名古屋などでセミナーを開催するなど県と町が協力しさらなる誘致活動を行うことの説明を受けました。

主な質疑。問）いまだ土地売買予約契約は1社であるが、あとの6区画について進出希望企業はないのか。また町としての誘致はどのように行っているのか。答）県と一体になって誘致を進めています。これから年末にかけて動きがあるものと見込んでいます。

問）県内企業からの希望はあるのか。答）滋賀県は県域全体の工業用地を見据えて企業の立地を調整しています。県内から県内へ移転した企業の跡地には新たな企業の進出を誘導することで県下全体の経済が活性化することに期待が持てます。

問）進出企業から従業員用の住宅地の希望はあるのか。答）住宅地の希望はあります。既存住宅団地に空き区画はあります。新しく10戸程度の住宅地について整備が誘発できるように進めていきたいと考えています。

問）南部地域に既存団地があるが、活用できないのか。答）関係者と情報交換を行っています。

## 2、住宅施策の状況について。

I B Mグラウンド跡地調査結果の概要について報告があった。当該地開発について大手コンサル会社が受託し、売却のためのシナリオ検討プロジェクトの結果報告があった。概要は住宅開発の可能性や売却可能性検討の調査フローなどである。町・I B M・コンサルの三者での検討会の開催が予定されている。

ほかに鶴川・須恵の町有地の利活用と山之上住宅予定地のアクセス道路のため国の交付金の活用に向け申請中であるとの説明があった。

主な質疑。問）検討会において町の要望が聞いてもらえるのか。答）町として若者定住に即した住宅地となるよう要望しています。

問）I B Mグラウンド跡地購入予定業者の権利関係はどうなるのか。答）当該業者の権利は存続しているが、新たな開発計画が許可権者に認められたら当該業者の権利は消滅します。

問) 空き家対策は進展しているのか。答) 区長・自治会長を通じて調査しています。現在の空き家状況は既存宅地で81戸、団地を入れ全体で130戸となっています。また問い合わせは5件ありました。

3、(株)雪国まいたけについて。

(株)雪国まいたけ鈴木取締役会長ほか4名が同席された。会長よりパッケージセンターを除いた用地について有効活用を図るため、第三者への売却を検討してきたことの報告があった。今後、農工法の変更や行政手続に理解と協力を得たいとのことであった。

主な質疑。問) (株)雪国まいたけから売却に向けた土地利用(分譲)計画素案が出されたが、農工法計画の変更は可能なのか。答) 県農政課担当レベルとの協議において、ある程度決まった段階で農工法の変更手続に入ってくださいとのこと。町としては計画が固まったら手続に入ります。県住宅課とも協議しています。

問) いつごろまでに手続に入ったら可能なのか。答) 年内中に方向性が決まれば可能であると考えています。

また、委員会としては、地元との話し合いを行い理解を図れるよう町と(株)雪国まいたけに要請しました。

以上、地域活性化特別委員会報告といたします。

○議長(蔵口嘉寿男) ただいまの地域活性化特別委員会委員長報告に対して質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長(蔵口嘉寿男) ないようでありますので、質問はこれで終結いたします。

地域活性化特別委員会の委員各位におかれましては、長期間にわたり本町のまちづくりを推し進める上で大変重要かつ根幹にかかわる案件の調査活動に努めていただき大変御苦労さまでございました。各委員のこの間における活動に対し心から厚くお礼を申し上げます。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第5 議会基本条例推進特別委員会委員長報告

○議長(蔵口嘉寿男) 日程第5 議会基本条例推進特別委員会委員長報告を議題といたします。

議会基本条例推進特別委員会委員長、小森重剛議員。

○議会基本条例推進特別委員会委員長(小森重剛) 議会基本条例推進特別委員会

報告。

平成27年8月28日

委員長 小森 重剛

本委員会は、7月13日委員全員出席のもと、5月16日に開催した町民懇談会のまとめについて協議するため会議を開きました。町民懇談会での参加者の意見を集約し、これを踏まえて議会報告会のテーマ、報告会の持ち方、対象者など報告会のあり方を検証しました。

今回の成果としては、全体の参加人数は多くはなかったが、その中でも対象とした若者・子育て世代は比較的多く、懇談会としたことで話しやすかったのではなかったかと考えます。

今後の課題としては、今回は町内企業にも参加を依頼しましたが、結果として参加者がなかったこと、また人口減少、定住、子育ての課題では、どれも関連性があり漠然として意見が出しにくかったことと、分散会での1グループの人数が多過ぎたことや隣のグループの声が聞こえて集中できないなど話しやすさの点で十分でなかったことなどです。

町執行部に対しては、町民懇談会での出席者の意見、アンケートの写しを添付し町民懇談会のまとめとして提出しました。

次に本委員会は、8月24日委員1名公務出張により欠席のもと、第15期4年間の議会基本条例推進特別委員会としてのまとめについて協議するため会議を開きました。

町民に開かれた議会として情報発信と説明責任を果たし、町民とともに歩む議会改革を進めていくために、平成23年6月に竜王町議会基本条例を制定し、第15期議会は議会基本条例推進特別委員会を設置し、条例の推進のための具体的実践として議会報告会や子ども議会などに取り組んできました。

4年間の取り組みを通して、1つ、地方分権の進展に伴い自治体の自己責任と自己決定が求められ、二元代表制の一翼を担う町議会は、町民の信託を受けた代表機関として意思決定を行う役割と責任はこれまで以上に重要になっている。

2つ目、そのため議会機能を十分に発揮すること、すなわち行政施策の評価・監視する役割を果たすとともに町民に開かれた議会を構築する必要がある。

3つ目、これらのことが実践・実現できたとき、説明責任が果たせる議会、政策提言ができる議会、存在感のある議会、町民が共感できる議会が確立できる。

4つ目、地道な取り組みとその積み重ねが到達点であること。

以上を取り組み半ばの課題もありますが議会基本条例推進特別委員会4年間のまとめとしました。以上、議会基本条例推進特別委員会報告とします。

○議長（蔵口嘉寿男） ただいまの議会基本条例推進特別委員会委員長報告に対して質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、質問はこれで終結いたします。

議会基本条例推進特別委員会の委員各位におかれましては、開かれた議会、身近な議会を目指し議会基本条例の具体的な実践として、議会報告会を初めさまざまな取り組みや調査研究活動に努めていただき大変御苦労さまでございました。各委員のこの間における活動に対し心から厚くお礼を申し上げます。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第6 所管事務調査報告

(議会運営委員会委員長報告)

(総務産業建設常任委員会委員長報告)

(教育民生常任委員会委員長報告)

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第6 所管事務調査報告を議題といたします。

各委員長より報告を求めます。議会運営委員会委員長、山田義明議員。

○議会運営委員会委員長（山田義明） 議会運営委員会報告。

平成27年8月28日

委員長 山田 義明

本委員会は、8月10日午前9時より第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催しました。執行部より竹山町長、桴木総務主監、奥総務課長ほか担当職員の出席を求め、平成27年第3回定例会の提出案件について説明を受けました。

今回提案される案件は、条例改正2件、補正予算6件、決算認定1件、人事案件4件、報告2件の計15件です。また、竜王町議会会議規則の改正についても審議し、委員会として議案を提出すべく案を議長に提出することと決定しました。そして、これらの議事の進行について審議し、会議録署名議員の指名、会期を8月17日から28日の12日間とすること及び議案の処理について審査決定しました。また、竜王町議会傍聴規則の改正についても審議し、直ちに公布、施行することと決定しました。

次に本委員会は、8月19日午前9時より第1委員会室において委員全員出席

のもと委員会を開催し、7議員による一般質問10問について審議し、結果6議員による9問とすることとしました。また、定例会第3日の会議の再開時間、質問の順序等について審査決定しました。その後、執行部より竹山町長、杼木総務主監、岡谷教育長、奥総務課長ほか担当職員の出席を求め、平成27年第3回定例会第2日の追加提出案件について説明を受けました。

この日に提案される案件は条例改正2件で、同議事の進行について審議し、議案の処理について審査決定しました。また、外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情についての取り扱いを協議し、議員全員に依頼文の写しを配付し周知を図ることにとどめ、意見書の提出は今回見送ることと決定しました。以上、議会運営委員会報告といたします。

○議長（蔵口嘉寿男） 次に総務産業建設常任委員会委員長、貴多正幸議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（貴多正幸） 総務産業建設常任委員会所管事務調査報告。

平成27年8月28日

委員長 貴多 正幸

本委員会は、去る8月21日午後1時より委員全員出席のもと、第1委員会室において町執行部より竹山町長、杼木総務主監、奥総務課長、図司政策推進課長及び担当職員の出席を求め所管事務調査を行いました。

ふるさと納税について。図司政策推進課長より、ふるさと納税の制度及び当町の今後の取り組みについて説明を受けました。当町においては、竜王町未来につなぐふるさと交電寄附の制度を拡充するという視点から、ふるさと納税に対する謝礼品の提供を導入し、収入のアップ、観光の振興を目的に平成27年11月2日を制度拡充運用開始予定日と決め準備を進められています。

主な質疑応答。問) 観光振興が目的ということであるが、地域総合戦略との関係、地域おこし協力隊と事業のかかわりはどのようになっているのか。答) ホームページを含め観光振興のツールの1つとしてできないかと考えています。協力隊についても協力隊が売り出すためのツールとして考えてもらえればよいと思います。

問) ふるさと納税制度の拡充についてはよいことだと思うが、今日までに寄附金は年間どのくらいあるのか。答) おおよそ年間10万円くらいでした。

小口地先町有地について。図司政策推進課長並びに木村参事より小口地先町有地の経過、今後の展開について説明を受けました。

主な質疑応答。問) 今後の展開の中で、境界を確定し正確な敷地面積を表示とあるが、今までされていなかったのか。答) 以前の企業立地予定業者との話の中では、地役権があるなどの確認をし先方の経費の中で対応する予定でありました。今回、町として確定行為をし、精度を高める必要があると考えています。

問) 町有地の隣接地を所有している企業が開発を進めてきた場合、町有地はどうするのか。答) 法にのっとり進めるしかありませんが、協議の上でさまざまな連携ができるのではないかと考えています。以上、総務産業建設常任委員会所管事務調査報告といたします。

なお、第15期議会の総務産業建設常任委員会所管事務調査は今回をもって終了しますが、今日まで各委員から出された意見や要望事項については、その趣旨を尊重され実現に向け御尽力いただきますようお願いいたします。最後になりましたが、今日までの所管事務調査に対しまして誠意ある対応をしていただきました執行部の皆様に対し心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

**○議長（蔵口嘉寿男）** 次に教育民生常任委員会委員長、古株克彦議員。

**○教育民生常任委員会委員長（古株克彦）** 教育民生常任委員会所管事務調査報告。

平成27年8月28日

委員長 古株 克彦

本委員会は、8月24日午後1時より第1委員会室において委員全員出席のもと、町執行部より川部副町長、杼木総務主監、知禿住民課長及び各関係職員の出席を求め所管事務調査を行いました。

国保診療所について。平成26年4月から2年間の指定管理になってからの現況について説明がありました。

1、管理運営体制について。(1) 診療日、診療時間。これは月曜から金曜日(祝日を除く) 8時30分から正午、水曜日は午後4時から6時、夜間診療。

(2) 人員体制については、医師1名から2名、看護師1名から2名、事務員2名体制にて診療を実施しました。

(3) 訪問診療については弓削メディカルクリニックと連携して実施しました。

2、自主事業については、(1) 一般外来患者に対する各種予防接種を実施し、高齢者インフルエンザ予防接種の実績は420件。上記以外の予防注射、予防接種実績は242件でした。

(2) 健康診断、一般外来患者に対する特定健診の実施もします。健康診断実施件数は39名です。

3、利用料金等の収入実績について。26年度の実績は2,892万6,000円余り。受診者数は伸びておらず、採算ベースには乗っていないものの指定管理については次年度も引き続き実施したいとの報告を受けました。

主な質疑応答。問)設備等の増強についてはどのように考えているのか。答)施設の器具等については、今ある現物での対応をお願いしたいと考えています。故障等があった場合は協議しながらできるだけ支援していきたいと考えています。

以上、教育民生常任委員会所管事務調査報告といたします。

今回をもって教育民生常任委員会所管事務調査を終了しますが、今日まで各委員から出された意見や要望事項については、その趣旨を尊重され実現に御尽力いただくをお願いし調査活動を終わらせていただきます。執行部の皆さん本当に御協力ありがとうございました。

○議長(蔵口嘉寿男) ただいま各常任委員会委員長よりそれぞれ報告がございました。この際一括して委員長報告に対して質問がございましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長(蔵口嘉寿男) ないようでありますので、質問はこれで終結いたします。

議会運営委員会、総務産業建設常任委員会、教育民生常任委員会、各委員会の委員各位には、長期間にわたり広範多岐にわたる所管事務調査に鋭意お取り組みをいただき大変御苦労さまでございました。この間における委員各位の活動に対し衷心より厚くお礼申し上げます。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第7 議員派遣について

○議長(蔵口嘉寿男) 日程第7 議員派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。会議規則第126条の規定により、お手元に配付のとおり議員を派遣することにいたしたいと思っております。なお、緊急を要する場合は、議長においてこれを決定いたしたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長(蔵口嘉寿男) 御異議なしと認めます。よって本件はそのように決定いたしました。なお、派遣された議員は、派遣の結果を議長に報告していただくようお願いいたします。

以上で本日の議事日程は全部終了いたしました。

この際、町長より発言の申し出がございますので、これを認めることにいたします。竹山町長。

○町長（竹山秀雄） 平成27年第3回竜王町議会定例会の閉会に当たりまして一言御挨拶を申し上げます。

本定例会は、去る8月17日から28日までの12日間にわたって会期を持たせていただきました。議員各位におかれましては、提案させていただきました数多くの議案に関しまして終始熱心にかつ慎重に御審議を賜りまして、本日全ての案件に対し適切なる御判断を頂戴いたしお認め賜りましたことに衷心より厚く御礼を申し上げる次第でございます。

あわせまして、それぞれの委員会や本会議一般質問の場で議員の皆様からは、まちづくりに対して、また本町の将来の姿に向って建設的、斬新的な御意見、御高見を拝聴いたし、この後の行政経営に生かしていかなねばならないと肝に銘じたところであります。

今、議場におられる議員の皆様とは4年間、住民皆様の福祉の向上や本町のまちづくりの方向、また抱える諸課題に関して議論を交わさせていただいてまいりました。この間、お2人の議員様が亡くなられると言う悲報に接しましたが、常に厳しくもあり、お支えも賜りました中で延べ16回の定例会を終えさせていただきました。今期議員様との本会議は本日が最後となりましたが、皆様から頂戴いたしました御指導、御鞭撻また御叱正は私自身を育ててくださることにつながったのは疑う余地のないところでございます。改めまして議員各位の4年間の議会活動に心より感謝申し上げ御指導賜りましたことに御礼を申し上げる次第であります。ありがとうございました。

本会議初日の8月17日の月曜日は朝刊が休みでありましたが、翌8月18日の新聞に8月17日に政府発表の4月から6月の国内総生産GDPの速報値が3四半期ぶりにマイナス成長となったことが報じられ、その要因が輸出・消費ともに振わなかったことにあると記述されました。政府は、落ち込みは一時的で7月から9月期以降はプラスに戻るという見方を示していますが、中国経済の減速や、ここに来て食品値上げによる消費者心理の悪化は景気回復のシナリオの逆風ともなりかねないと危惧の記事を掲載しています。昨年度の第3回定例会閉会の挨拶でも触れさせていただきましたが、消費税アップ前の自動車、家庭電気製品、住宅など耐久機器の駆け込み需要が回復基調を下支えしていると言えるものの反動が想定されること、既に食料品を初めとする非耐久機材の売り上げが芳しくない状況にあることに、このたびの経済動向を注視しなければならない要素があると申し上げました。安倍政権は、経済の成長戦略と同時に財政再建をうたっておら

れますが、経済が失速状態にならないことが大切な条件であり、真の経済成長とは全ての国民がひとしく暮らしやすくなったと感じられるものでないといけないとも述べさせていただきました。

今、本町は法人町民税において過年度還付が必要となっている事態であり、町内大手企業の製品販売量も厳しさが出ている状況にあります。加えて開会の御挨拶でも申し上げました法人税制改革によるさらなる引き下げ等は、本町の財政面に大きく影響を受けることとなりますので、いま一度、手綱をしっかりと引いての行政経営に向わねばならないと思っています。4月から6月期のマイナス成長が一時的なものに終わり、アベノミクス経済政策が失速しないように次なる政府の施策を期待するところであります。

話を転じさせていただきます。8月25日には、夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会をドラゴンハットにて開催させていただきました。総勢1,450名の皆様に参加していただいたところであり、音楽に合わせて皆さんが体を動かすラジオ体操こそ心を1つにできる場ではないかと感じた次第であります。本町は町制施行60周年を迎えておりますことから、記念行事の一環として印象に残る催しとなりましたし、常々申し上げておりますとおり、少子高齢化社会に向っては、皆さんが健康で明るく毎日を過ごしていただくことが持続可能な自治体への重要な条件となりますので、今回のラジオ体操・みんなの体操会は、スポーツの大切さを再認識することと世代を超えてのコミュニケーションの場となり、このことがまちづくりの大切な要素になるとも思えたところでありまして、ラジオ体操会に関係してくださった方々に改めて御礼を申し上げさせていただきますと存じます。

また9月5日には総合防災訓練を計画させていただいています。ここ数年間は役場の職員が出向く形で要援護者の確実な避難を旨とした訓練に携わってきていただいていたのですが、今年度よりは新しく集中型、劇場型に切りかえて町内を3防災区分け、本年はドラゴンハットを中心に第1防災区分対象の訓練を実施させていただきます。既に参加関係機関会議を2回持たせていただき、訓練の内容、要領等周知いたしましたところではありますが、参加して下さっている皆様には、いざというときには日ごろの訓練でやったことが一番役に立つのですと、これは3.11被災地の首長の皆様どなたからも聞く言葉ですので、訓練の大切さ、訓練から学んでいただくことの意味と意義をお伝えいたしています。議員の皆様にも御協力賜りますよう何とぞよろしくお願い申し上げます。

さて、9月13日には竜王町議会議員の一般選挙が執行される予定であります。再度御出馬をなされる方、また後継者に道をお譲りになられる方などこもごもであらうかとは存じますが、60周年の節目を迎えている本町にありましては、力強く新しいまちづくりへの一歩を踏み出し、持続可能な自治体に向かう大切な選挙になることを町民全てがしっかりと認識いたさねばならないと思っている次第でございます。

まだまだ残暑厳しい折でございますので皆様御自愛くださいませして御活躍いただきますことを念じ上げ言葉整いませんが、閉会の御挨拶とさせていただきます。まことにありがとうございました。

**○議長（蔵口嘉寿男）** 閉会に当たりまして一言御挨拶を申し上げます。

去る8月17日に開会いたしました今期定例会は、条例の一部改正、補正予算、平成26年度竜王町水道事業会計決算認定など重要案件が提出され、議員各位には終始慎重な御審議を賜り、本日ここに全議案を議了し、つつがなく閉会することができましたことは、まことに喜びにたえないところであります。会期中における皆様方の格別の御協力に対しまして心から感謝申し上げる次第でございます。また、執行部におかれましても、この間、誠意ある対応をしていただき議事運営に格段の御協力を賜りまことにありがとうございました。

審議の過程におきまして各議員から述べられました意見や提言を十分に尊重されますとともに、町民の信頼と期待に応えられますよう切にお願い申し上げます。顧みますと、平成23年10月、本会議場で皆様とお会いしまして以来、はや4年が経過しようとしております。この4年間には、国の内外でさまざまな事象がございました。国外では、中東における民族紛争はいまだ解決せず、邦人も犠牲になるなど全世界に不安な政治経済情勢をもたらしています。ユーロ圏における金融不安は国をも崩壊させるほどの不穏な事態となりました。TPP問題は、農業者・国民の不安や危惧を払拭し切れないまま大詰めを迎え、今後の国民生活への影響が心配されています。

国内では、東日本大震災から復興・復旧の道程が始まり、災害に対して、そして原発について国民世論の高まりと国民的議論が進んできています。また、いじめを初めとする痛ましい事件・事象は今なお後を絶たず大きな社会問題となっています。少子高齢化の急速な進展は、人口減少による自治体の存続にまで論を呼び、日本創成会議による「消滅可能性自治体」を列挙するまでに至りました。本町もその自治体として名指しをされたところですが、そうした中で、国はまち・ひ

と・しごと創生法による人口課題などを克服する地方の総合戦略を支援することとしました。

また、全国各地での集中豪雨や地震による被害、さらに火山噴火による被害は、異常気象という言葉で片づけることのできない命を守る大きな国民的課題となりました。本町では、特に平成25年9月の台風18号では、日野川、祖父川を初めとする堤防の損壊、農業施設の損壊や浸水、道路の冠水など多くの被害が発生し、近年にない災害の経験とともに、改めて災害への備えと減災への心構えの必要性を感じたところでございます。そうした中で、竜王町地域防災計画が住民の安全安心確保と自主防災組織の役割を重点に見直しがされました。行政と住民そしてあらゆる機関、関係者が連携する中で安全で安心なまちづくりを進めることが重要です。

私ども第15期議員は、合併を選択せず自立のまちづくりを目指すことを土台として第五次総合計画前期基本計画と期を一にした4年間でもございました。この間、大型商業施設の開設・増床は、年間500万人にも及ぶ人が本町を訪れ、アグリパークや道の駅の盛況、活性化へとつながりました。本町独自の療育事業のスタート、中学校体育館の改修など次代を担う子供たちへの環境整備も整いつつあります。竜王町インターチェンジを拠点としたまちづくりでは、長年の懸案でありました岡屋地先において滋賀竜王工業団地として着々と整備が進み喜ばしい限りであります。早期に全ての区画で本町にとって有効な企業立地と操業ができることを期待するところでございます。

一方では、水道量水器期限切れ、庁舎別館火災や中学校灯油流出事故は全く残念な結果となりました。一日も早く住民の信頼を回復させ、安心なまちづくりに邁進していただきたいと願うものです。

私どもは、住民の負託に応えるためみずからを律し活動してまいりました。二元代表制の一翼を担い、住民の信託を受けた機関として意思決定を行うその役割と責任は非常に重要なことから、住民にとって開かれた議会、情報発信と説明責任を果たし住民から信頼される存在感のある議会を目指し、議会基本条例を推進するため議会報告会、子ども議会にも取り組みました。子供たちが純真に語ってくれたまちづくりへの提言に感銘するとともに、責任あるまちづくりを進めなくてはならないと感じたところです。

12名でスタートいたしました第15期議会ではございましたが、任期途中で2名の同僚議員とお別れするという悲しい事態となりました。12名が任期最後

までとの願いがかなわず残念でなりません。

さて、議員各位には本会議場において皆様と顔を合わせることも本日をもって最後となるものと思いますが、4年間竜王町議会の運営が円満に本日を迎えられることを皆様とともに喜びたいと存じます。来る9月30日をもって任期が満了するところではありますが、引き続き審判を仰がれる予定の各位におかれましては、くれぐれもお体御自愛の上、当選の榮譽を得られますよう御奮闘をお祈り申し上げます。また、今期をもって勇退される各位におかれましては、長年にわたる御活動に敬意を表しますとともに、今後とも本町発展のため御指導、御協力あらんことを切にお願い申し上げる次第であります。

いよいよ本日をもって第15期議員として定例会の本会議場での会議は最後になりました。高壇からではございますが、御支援、御協力いただきました町民の皆様方に対しまして議会を代表して心から厚くお礼申し上げますとともに、皆様方のますますの御隆盛を御祈念申し上げます。

なお、この4年間、議員並びに執行部各位には、温かい御指導と御協力を賜り、議長職を大過なく務めさせていただくことができましたことに衷心より厚くお礼申し上げます。まことにありがとうございました。

最後になりましたが、竹山町長を初め執行部の皆様並びに議員各位のますますの御健勝と御活躍を心から御祈念申し上げまして、閉会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。まことにありがとうございました。

それではこれもちまして平成27年第3回竜王町議会定例会を閉会し、散会いたします。

長期間御苦勞さまでございました。

閉会 午後2時04分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

竜王町議会議長 蔵 口 嘉寿男

議会議員 貴 多 正 幸

議会議員 古 株 克 彦